

令和 7 年度 港区関連予算（案）概要

【1 区長（区CM）が関与する予算額】

（単位：千円）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度（案）
港区役所予算	1, 157, 545	1, 504, 815	3, 064, 776	3, 385, 828	860, 226	1, 262, 988
うち区長自由経費	549, 859	913, 073	2, 497, 177	2, 852, 395	450, 821	842, 152
うち区CM自由経費	607, 686	591, 742	567, 599	533, 433	409, 405	420, 836

※ 人件費除く

区長自由経費は、区庁舎設備維持費や防災対策事業など、区へ財源配分され区が実施する事業の経費です。

区CM（シティ・マネージャー）自由経費は、スポーツ施設指定管理運営費や公園管理運営費など、区で調整を行いますが、局へ財源配分され局が実施する事業の経費です。

区長自由経費における 6・7 年度の差額の主な理由は、港区土地区画整理記念事業完了に伴い区政推進基金へ積立を行うためです。（積立予定金額：353,563 千円）※実際の積立金額は令和 6 年度決算によって確定します。

それぞれの事業別予算については、別紙をご参照ください。

【2 重点的に取り組む事業】

○万博出展による港区のPR事業〈令和7年度予算額：4,029千円〉（新規事業）

【概要】 万博会場での出展により、港区の魅力や区制100周年の意義を来場者に伝え、「未来と世界にひらくまち港区」をPRするとともに港区のにぎわい作りにつなげる。

【工夫点】 2025年は区制100周年と大阪・関西万博の開催年であるため、港区制100周年に関する映像を作成し区の歴史やみどころを伝え、またEXPOアリーナでのステージパフォーマンスでは、世界中で親しまれているCOOL JAPAN（コスプレ）により、区魅力を発信する。

○区の広報事業〈令和7年度予算額：21,832千円、令和6年度予算額：18,224千円〉

【概要】 区民とのコミュニケーションツールとして区広報紙を毎月1回発行し、区内の全世帯・事業所へ配布することにより、くらしに欠かせない情報や区魅力を発信する。

【工夫点】 大阪・関西万博開催及び区制100周年について、計5回にわたり広報紙の特集ページ（4ページ）を組み、区民の参加意識及びシビックプライドの向上を図る。

○港区エリア別活性化プラン等の推進 〈令和7年度予算額：17,296千円、令和6年度予算額：13,835千円〉

【概要】 令和3年4月策定の「港区エリア別活性化プラン」に基づき、港区の各エリアの特性に応じた中長期的なまちづくりを推進していく。

【工夫点】 万博開催やIR誘致を港区の活性化につなげるため、活性化プランに掲げる施策の再検討・再構築を行う。公民地域連携による手法も活用して、関係部局とも連携しながら、各エリアの地域資源を最大限に活かした個性ある新しいまちづくりを推進し、港区全体の活性化につなげる。

○学校跡地を活用したまちの活性化事業 〈令和7年度予算額：20,570千円、令和6年度予算額：2,904千円〉

【概要】 学校再編によって生じる学校跡地において、防災拠点機能を継続するとともに、地域内の児童数の回復とまちの活性化を図るため、学校跡地の活用に向けた調査を行う。

【工夫点】 学校再編の住民説明会等で得た住民ニーズである「防災拠点等の機能継続」、「児童数の回復に繋がるような魅力ある機能の誘致」について、学校跡地及び既存建物を活用することで、まちの活性化に取り組む。

○不登校生徒支援事業　〈令和7年度予算額：5,316千円、令和6年度予算額：5,316千円〉

【概要】　不登校による学力低下・進学・就職等への影響は将来の貧困につながりかねないことから、不登校からの回復に向けた支援を行い、貧困の連鎖や新たな貧困を生むことを抑制する。

【工夫点】　区内中学校を対象に、ボランティアサポーターによる登校支援や学習支援に加え、校内に開設している居場所を活用し、不登校からの回復に向けてボランティアベースで対応できる支援に取り組む。